

プレス発表資料

平成24年10月16日
独立行政法人 防災科学技術研究所

国際シンポジウム「都市と極端気象」を開催

独立行政法人防災科学技術研究所（理事長：岡田義光）は、都市圏における極端気象の観測・予測技術、および情報の利活用に関する国内外の研究動向を広く一般の方々に知っていただくため、国際シンポジウム「都市と極端気象」を平成24年10月23日（火）・24日（水）にコクヨホール（東京都港区）で開催いたします。

1. 主催：独立行政法人 防災科学技術研究所
共催：気象庁気象研究所、東洋大学、科学技術振興機構
後援：内閣府、文部科学省、防災研究フォーラム
2. 日時：平成24年10月23日（火）・24日（水）
3. 場所：コクヨホール（東京都港区南1-8-35）
4. 内容：一般市民および防災に関心のある方を対象に、国内外の研究者および防災担当者が、都市における極端気象に関する観測・予測および利活用について講演いたします（別紙参照）。同時通訳あり。
5. 参加申し込み
以下のホームページから申し込むことができます（定員300名）。参加無料。
<http://www.tomacs2012.org/>
6. 本件配布先：文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会

【内容に関するお問い合わせ】

独立行政法人 防災科学技術研究所
観測・予測研究領域 水・土砂防災研究
ユニット
三隅 良平
電 話：029-863-7766
FAX：029-863-7760
e-mail：misumi@bosai.go.jp

【連絡先】

独立行政法人 防災科学技術研究所
社会防災システム研究領域
アウトリーチ・国際研究推進センター
アウトリーチグループ
大石 恵章
電 話：029-863-7783
FAX：029-851-1622

国際シンポジウム「都市と極端気象」

1. 日 時：平成 24 年 10 月 23 日（火）・24 日（水）
2. 場 所：コクヨホール（東京都港区南 1-8-35）
3. 主 催：独立行政法人 防災科学技術研究所
4. 共 催：気象庁気象研究所、東洋大学、科学技術振興機構
5. 後 援：内閣府、文部科学省、防災研究フォーラム

6. プログラム

10 月 23 日（火）

09:20-09:50 受付

09:50-09:55 開会挨拶 岡田義光（防災科学技術研究所理事長）

09:55-10:05 来賓挨拶

セッション 1 極端気象の観測

10:10-10:30 気候変動に伴う極端気象に強い都市創り：TOMACS

眞木雅之（防災科学技術研究所）

10:30-10:50 都市大気の構造を調べる：ドップラーライダー観測

藤吉康志（北海道大学低温科学研究所）

10:50-11:00 都市における突風現象

小林文明（防衛大学校）

11:10-11:30 休憩

11:30-11:50 極端気象の観測

中北英一（京都大学防災研究所）

11:50-12:10 虫の動きで積乱雲の発生・発達を知る試み：非降水エコーの利用

楠研一（気象庁気象研究所）

12:10-14:00 昼休み

特別講演

14:00-14:30 偏波レーダが拓く都市における極端気象の新技术

上田博（名古屋大学）

14:30-15:00 現業豪雨警報サービスにおけるレーダ降雨量推定とナウキャストの利用

アラン・シード（オーストラリア気象局）

セッション2 極端気象の予測

15:00-15:20 緊急豪雨・強風情報：TOMACS の目指すもの

三隅良平（防災科学技術研究所）

15:20-15:40 強風ナウキャスト・システムの開発

鈴木靖（京都大学防災研究所）

15:40-16:00 休憩

16:00-16:20 観測データを豪雨予測に活かすには -データ同化と数値予報-

川畑拓矢（気象庁気象研究所）

16:20-16:40 積乱雲の発生を監視する：ひまわりラピッドスキャン

毛利浩樹（気象庁）

16:40-17:00 新しい河川管理：X R A I N（国土交通省XバンドMPレーダネットワーク）

内藤正彦（国土交通省）

10月24日（水）

セッション3 社会実験

09:30-09:50 防災情報の問題点

中村功（東洋大学）

09:50-10:10 東京消防庁におけるMPレーダの活用

竹花勝明（東京消防庁）

10:10-10:30 列車を災害から守る：JR東日本における気象情報の活用

島村誠（JR東日本）

10:30-10:50 建設現場における気象情報の活用可能性について：ユーザーの立場からの検討事例

大塚清敏（大林組）

10:50-11:10 休憩

特別講演

11:10-11:40 統計学を用いた大雨の発生頻度と周期性に関する研究

山田正（中央大学）

11:40-12:10 ダラス・フォートワース都市の水研究ネットワーク

V. チャンドラ（コロラド州立大学、アメリカ）

12:10-14:00 昼休み

セッション4 各国における取り組み

14:00-14:20 ダラス・フォートワース都市の実証実験ネットワーク：社会工学的研究プラットフォーム

フアン・オルティス（フォートワース市危機管理課、アメリカ）

14:20-14:40 韓国の大都市における極端な大雨事例の紹介（2009 - 2011）

ドンイン・リー（釜慶大学校、韓国）

14:40-15:00 サンパウロ都市域の天気や気候に対する長期の人為的な影響について

アウグスト・ホセ・ペレイラ・フィーリョ（サンパウロ州立大学、ブラジル）

15:00-15:20 休憩

15:20-15:40 都市水文学と X バンドレーダ：パリ域での RadX@IDF プロジェクトとヨーロッパでの RainGain プロジェクト

ダニエル シャーザー（国立土木学校 パリテク、フランス）

15:40-16:00 カナダ環境省における数値天気予報を支える都市モデルの構築と緊急対応

ステファン ベルエア（カナダ環境省）

16:05-16:35 総括

16:35-16:45 閉会挨拶

山下廣順（科学技術振興機構）